

問1.本文中の下線部にある以下の用語を、30～40字の日本語で説明しなさい。

(1) automation anxiety (第③段落)

(2) augmentation aspiration (第③段落)

[(1) の解答例]

AIの導入によって、人間の仕事が自動化され、無くなってしまうことに対する不安。

(39字)

[出題の意図] 下線部に関して本文中に含まれる以下の要点が適切に理解できているか、を問うための設問：

- AI (の導入)
- (人間の) 仕事が自動化
- (人間の仕事が) 無くなってしまう
- 不安

[(2) の解答例]

AIの導入によって、より多くの業務が効率化され、生産性が向上するという希望。

(38字)

[出題の意図] 下線部に関して本文中に含まれる以下の要点が適切に理解できているか、を問うための設問：

- AI (の導入)
- (より多くの) 業務が効率化
- 生産性が向上
- 希望

問2.第⑤段落の下線部 For your future career, both will be relevant. について、筆者は lawyer を実例として、どのような解説をしていますか。下線部内の both が指す内容を具体的に明示しながら、180～200字の日本語で述べなさい。

[解答例]

従来、法務のような高学歴の専門職とみなされてきた仕事の多くが、今後はAIで代替される懸念も高まっているが、他方で、例えばAIチャットボットの導入によって、法務従事者の業務はAIに取って代わられるのではなく、むしろテクノロジーによって強化されるだろうと述べる識者もいる。実際には、AIによる自動化と人間の業務能力の拡大は相互に補完的であり、将来のキャリアにとっては、これらは両方ともに大事である。(197字)

[出題の意図] 下線部に関して本文中に含まれる以下の要点が適切に理解できているか、を問うための設問：

- 従来、法務のような高学歴の専門職とみなされてきた仕事
- 今後、そういった仕事の多くがAIで代替されていく可能性（は高い）
- AI（例えばチャットボット）といったテクノロジーの導入によって、法務専門職の業務は、むしろ強化されていくだろう
- AIによる自動化と人間の業務能力の拡大は相互に補完的であり、したがって、これらは両方ともに大事である

問3.第⑦段落の下線部で、筆者は But should you spend money on further education if the return on investment is uncertain?と問いかけています。筆者はこの問いへの答えとして、何を述べていますか。第⑦段落と第③段落の内容に即して、210～230字の日本語で説明しなさい。

〔解答例1〕

テクノロジーの発展とともに特定のスキルが時代遅れになるリスクは確かに存在するものの、教育とはそういった具体的なスキルを学んで身につける以上に、学び方そのものを学ぶためのものである。つまり教育とは学校での勉強だけでなく、職業に就きながら自身のスキルを時代に合わせて磨き続ける、その方法を学ぶことでもある。こうした学びの能力は、職場において高い価値を有しているし、人間の批判的思考と分析スキルは、今後、人間とAIの協同において、特に重要となるであろう。(224字)

〔解答例2〕

教育で身につけた特定のスキルはテクノロジーの進歩とともに古くなる。しかし、教育とは学び方を学ぶものであり、スキルをアップデートし続ける方法を学ぶものである。この能力を持つことが業務の中で高い価値のあるものであり、学校や会社での業務の中でも身につけることができる。また、批判的思考や分析スキルは人間と機械がお互いを補完・増強するために特に重要である。仕事の多くが自動化されたとしても、そのアウトプットをどう考えるかは人間の役割なのである。(218字)

〔出題の意図〕下線部に関して本文中の第⑦段落と第③段落に含まれる以下の要点が適切に理解できているか、を問うための設問：

- ・ テクノロジーの発展とともに、特定のスキルが時代遅れになるリスク／可能性
- ・ 教育とは学び方そのものを学ぶためのもの
- ・ 教育とは自身のスキルを時代に合わせて磨き続ける、その方法を学ぶこと
- ・ 学校や会社での業務を通じて学ぶことはできる
- ・ 人間の批判的思考と分析スキルは、今後、人間とAIの協同・補完関係において特に重要となる

問4.筆者は第⑨段落の下線部で、Above all, choose a job that you enjoy and keep learning – so that if you do need to change course in the future, you know how to.と提案しています。この提案について、あなたはどのように考えますか。本文の内容を踏まえつつ、日本の事例など、あなたが知っている事柄も含めて、500～600字の日本語で自由に論じなさい。

[解答例]

楽しく学び続けられる仕事を選ぶというのは、今の日本の若者にとって、また今後の日本にとっても有益な提案だと思う。自分が楽しめる仕事ならば、仕事に対する意欲も高まるだろう。一般に日本人は働き過ぎであり、過労死などの問題も頻発している。単なる労働ではなく、充実感のある仕事ならば、個人の精神的な健康も維持できるし、長期的な生産性の維持にも役立つ。さらに、個人が楽しく働く職場では、しばしば革新的なアイデアが生まれ、それが組織全体にとってプラスになる可能性も高い。もちろん、絶え間ない変化を続ける世の中では、単に仕事を楽しむのみでは不十分である。自動化そしてAIの普及は世界的な潮流であり、テクノロジーの発展に適応するための継続的な学習は、働く人それぞれにとって今や必須である。人口構成や家族のあり方が変化するにつれて、男女の役割も大きく異なっていくだろうし、個々人はワークライフバランスに配慮しつつ、自分自身の将来的なキャリアを主体的にデザインするよう、ますます求められるだろう。今後の日本では、高齢者は雇用を維持するために自分のスキルを絶え間なく更新しなければならないし、若者は社会全体の高齢化を含む人口動態の変化に、常に適応していく必要がある。このように激変していくであろう未来を生き抜くには、楽しんで学び続けられる仕事を選ぶことが、結局は最善の選択になると思われる。(583字)

[出題の意図] 以下の点を評価の中心として、受験者の英語ならびに日本語の総合的な能力を、日本語作文を通じて問うための設問：

- 課題に対する理解の的確さ（本文の内容をきちんと理解したうえで、それを踏まえた論述ができているか）
- 論旨の説得力（学生自身が見聞きしている日本の事例や他の事柄などを含めて、具体的かつ辻褄の合った論述ができているか）
- 日本語表現は適切か
- 独創性（や他の着目すべき点）が論述内に見られるか